

梯川における河川災害復旧事業

～治水機能の確保に向けて～

梯川水系梯川（石川県小松市安宅町・下牧町・平面町・白江町・古府町）

1．事業の概要

台風23号の影響により、10月19日10時より雨が降りはじめ、梯川上流尾小屋雨量観測所では総雨量186mmに達する降雨となった。この降雨により梯川では10月20日16時30分に埴田水位観測所で指定水位を超え、17時10分には警戒水位を、22時10分に最高水位4.69mという昭和46年の観測開始以来既往第2位を記録する出水となった。

そのため、小松市安宅町では侵食による局所洗掘により既設護岸が吸出しを受け亀裂、下牧町、白江町では既設蛇籠流出、平面町では既設木柵護岸が流出し、このまま放置しておくことと次期出水で堤防等に直接被害が及ぶ恐れがあるとして、治水機能の確保を図るため、河川等災害復旧事業により、護岸復旧を実施することとしました。

また、2月に発生した融雪出水による護岸復旧（古府）についても実施します。

2．事業の経緯

平成16年度 復旧着手

平成17年度 復旧完了

3．平成16年度補正予算（災害復旧）の内容

台風23号出水により被災した護岸L=915m（5箇所合計）を復旧。



出水により被災した護岸



出水中の梯川



梯川における災害復旧事業箇所

小松市安宅町
L=40m(右岸)

小松市下牧町
L=245m(右岸)

小松市平面町
L=40m(右岸)

小松市白江町
L=445(左岸)

小松市古府町
L=145m(右岸)

